

はじめに

キー操作系ファイラーの FD、FILMTN、WinFM っぽい Windows / Linux / SSH / SMB 対応タブ型ファイラーです。初めは、自分で使う用に作成したのですが、某掲示板できいたところ使いたいという方がおられましたので公開しました。

Ver3 より Windows 環境と Linux 環境に対応させるため、Go 言語+Gtk3 を使って開発しています。

- 任意のフォルダをリンク先として登録し、数字キーを使って移動することが出来ます。
- Windows10, Linux Mint 21.1 Cinnamon Edition の 64bit 環境で動作確認しています。
※32bit OS では動作しないかもしれません。
- Timezone は日本、クリップボードは SJIS などの固有環境のため、日本語環境限定となります。
- 対応している画像形式は Gtk3 に依存します。
※対応画像形式（登録拡張子）は固定となります。
※対応画像形式でも表示できない場合があります。
- Gtk3 の themes をインストールすることで外観を変えることが出来ます。
テーマの使い方は「<https://github.com/Yz-Filer/golang/tree/main/Contents/03>」を参照して下さい。

Ver3.1 より「<https://github.com/Yz-Filer/golang>」の内容を取り込んで以下の改善を行ってます。

- Window 環境でファイルエクスプローラーとの DnD およびクリップボード経由でのファイルのコピー&ペーストに対応しました。
※DnD は「Shift キー + Drop」で Move、「Ctrl キー + Drop」で Copy となります。
- Windows 環境でローカルファイルの右クリックメニューにエクスプローラーの右クリックメニューを表示するように変更しました。（一部表示されないサブメニューがあります）
- リソースを埋め込んだので glade ファイルが不要になりました。
- 機能的には大きく変わってませんが、画像ビューア、文字コード変換、USB ディスク監視、ディレクトリ監視を上記 github の内容に変更しました。
※画像ビューアは、範囲指定、コピー(Ctrl + C)、ペースト(Ctrl + V)、背景色の変更に対応しました。
- USB ディスクを使用不可にしている端末では起動出来なかったため、USB ディスク監視を OFF にするコマンドラインオプションを追加しました。起動時に「--no-usb-watcher」を引数に指定すると、ドライブスキャンおよび USB ディスク監視が行われなくなります。
※「C:\」などが初期表示されないため、必要に応じて「F7 キーコマンド」で登録して下さい。

インストール・設定

- レジストリは使用していません。任意のディレクトリに解凍して下さい。
- アンインストールはディレクトリごと削除して下さい。
- config ディレクトリに設定情報が保存されます。
※Ver3 の config ディレクトリから Ver3.1 へ上書きコピーすれば設定が引き継げます。
- 複数起動の動作保証はしていませんが、別ディレクトリに配置し、リンク情報の設定を同じにすれば、動作するかもしれません。
※リモートファイルをエディタで開いてる状態が検知できないなどの影響があります。
- リンク設定してない状態で起動すると、PC に接続されている論理ドライブ(A:¥~Z:¥)を自動的にスキャンして登録します。(Windows 版)
(リンク設定の 00 番は、ホームディレクトリになります)
リンク設定情報は、F7 キーで変更できます。
※起動時に「--no-usb-watcher」引数を指定した場合、ドライブスキャンは実施されません。
- F7 キーのリンク設定画面では、Insert キー/右クリックで設定追加、Del キーで削除となります。
尚、数字キーで該当するドライブへの移動となります。

設定画面を開いた後、「get」ボタンを押すとカレントディレクトリの情報が表示されます。

- Mode 指定は、win, linux: ローカル、smb: NW 共有フォルダ、ssh: SCP 接続です。
- smb の Root Directory 指定は、「共有フォルダ名¥フォルダ名…」です。
- ssh の Root Directory 指定は、「/フォルダ名 1/フォルダ名 2…」です。
- Linux の場合、gtk3・lsblk・xclip・xdg-open・webp-pixbuf-loader が必要です
※xclip 以外は、Linux Mint 21.1 Cinnamon Edition には、デフォルトでインストールされていました。
- サンプルとして同梱してある画像効果スクリプトの実行には、Imagemagick が必要です。
- Linux の場合「インストールディレクトリ/script」配下の sh に実行権限を付与して下さい。
- Windows 環境でテーマを指定する場合は、
「インストールディレクトリ\share\themes」配下にインストールし、
「インストールディレクトリ\share\gtk-3.0\settings.ini」内の[Settings]の下に
gtk-theme-name = テーマ名
を指定して下さい。(「gtk-application-prefer-dark-theme = true」は削除)
- Linux 環境でテーマを指定する場合は、
テーマをインストールした後、起動時の環境変数に「GTK_THEME=テーマ名」を指定して下さい。
※文字色の都合のため、初回起動は、「GTK_THEME=Adwaita:dark」
を指定して下さい。

- エラーダイアログに表示されないエラーログは、「インストールディレクトリ\temp\log」ファイルに出力されますが、ログファイル作成前に発生したエラーは、ログファイルには書き込まれません。

Linux の場合は、ターミナルから実行すると、ターミナルにエラーが表示されます。

Windows の場合は、powershell 上で

「インストールディレクトリ\yz3.1.exe | Out-String」

のようにアプリを起動すると、アプリ異常終了時に powershell 上にエラーが表示されます。

- 環境設定は、F8 キーで設定できます。
設定項目は以下の通りです。

- Design

- text color
文字色の設定
 - other
Font : フォントの設定
Tab position : タブの表示場所の設定

- terminal

初期設定を参考に設定して下さい。置換パラメータの指定がややこしいので分かり
難しい場合、スクリプトを作成した方が簡単かもしれません。

- 置換パラメータ
 - #G : 「cmd /c start」と置換されます。(Windows 向け)
 - #Q : 空白を含む文字列は#Q で囲むと1つのオプションと認識されます
 - #MACRO_FILE : 「Login Macro」ファイルと置換(不要なら未指定で可)
※「Login Macro」ファイルは内部で作成されます
 - #CR, #LF : 改行(\r, \nと置換)
 - #ADD_MACRO : X キーコマンド時に「Add Macro Type1」、SHIFT+X キー
コマンド時に「Add Macro Type2」と置換
 - #COMMAND : X、SHIFT+X キー、F2 キーコマンド時に指定するコマンド
と置換
 - #IP, #PORT, #USER, #PASS, #KEY_FILE : 接続情報と置換
 - #D, #P : ドライブレター、カレントディレクトリと置換
(「Login Macro」内で使用可)
 - terminal
 - ターミナルの起動コマンドを指定
 - Linux Mint Cinnamon : gnome-terminal
 - Linux Mint Mate : mate-terminal
 - Login Macro
 - 起動用スクリプトファイル(#MACRO_FILE)の内容を設定
※「terminal」設定だけでログインできる場合設定不要
 - Add Macro Type1
 - X キーコマンド時に実行するマクロ(#ADD_MACRO と置換)

- Add Macro Type2
SHIFT+X キーコマンド時に実行するマクロ(#ADD_MACRO と置換)
- SSH
パスワードが渡せるターミナルの場合、ログイン時にパスワード入力は不要となります。
例) putty
Terminal :
#G putty.exe -ssh #IP -P #PORT -l #USER -pw #PASS -t -m #MACRO_FILE
Login Macro :
cd #P; /bin/bash --login #ADD_MACRO

○ compress/decompress

初期設定を参考に設定して下さい。置換パラメータの指定がややこしいので分かり難い場合、スクリプトを作成した方が簡単かもしれません。

- 置換パラメータ
#ZIP_FILE : 圧縮ファイルパス
#ZIP_PASS : 圧縮ファイルパスワード
#COMP_FILES : 圧縮ファイル名リストが保存されたファイルパス
#COMP_FULLNAMES : 圧縮ファイルパスリストが保存されたファイルパス
#COMP_FILES_STDIN : 標準入力から圧縮ファイル名リストを渡す
#COMP_FULLNAMES_STDIN : 標準入力から圧縮ファイルパスリストを渡す
※#COMP_FILES、#COMP_FULLNAMES ファイルは内部で作成されます。
- Compressed file viewer
圧縮ファイルビューアを指定
 - Linux Mint Cinnamon : file-roller
 - Linux Mint Mate : engrampa
- Compress / Decompress
圧縮 / 解凍コマンドを指定
※コマンドラインツールで標準出力を表示したい場合
 - Windows: 先頭に、「#G」や「#G cmd /c」をつける
 - Linux: terminal を起動し、「cat #COMP_FILES」で zip にリストを渡す
- Compress / Decompress with password
パスワードを指定する場合の圧縮 / 解凍コマンドを指定
※コマンドラインツールで標準出力を表示したい場合
 - Windows: 先頭に、「#G」や「#G cmd /c」をつける
 - Linux: terminal を起動し、「cat #COMP_FILES」で zip にリストを渡す
- Save compression/decompression password history
圧縮パスワードを履歴に残すかどうかを指定
※履歴を確認するため、圧縮パスワードの表示はマスクされていません

○ tools

- File Manager
Ctrl+Enter キーコマンドで起動するファイルマネージャーを指定
 - ・Linux Mint Cinnamon : nemo
 - ・Linux Mint Mate : caja
- Open in association command
「関連付けで開く」場合のコマンドを指定
※ファイルパスは、#COMMAND と置換されます
- Text editor
テキストエディタを指定
※ファイルパスは、#COMMAND と置換されます
※#EDITOR_OPTION は、「Editor row/column options」と置換されます
- Editor row/column options
テキストエディタの行・列指定オプション
例) サクラエディタ
-X=#COLUMN -Y=#ROW
- Media player
メディアプレーヤーを指定
※ファイルパスは、#P#C と置換されます
- Usb eject
USB をイジェクトするコマンドを指定
※ファイルパスは、#COMMAND と置換されます
※USB イジェクトツールをフルパスで指定して下さい。
script ディレクトリに RemoveDriveTools をサンプルで置いています。
※ドライブレター/デバイス名は、#COMMAND と置換されます
- Clipboard target options for linux
Linux でファイルをクリップボードにコピーした状態で以下のコマンドを実行
xclip -selection clipboard -t TARGETS -o
表示されたリストから
x-special/* -copied-files
の文字列を見つけて設定して下さい。
- Maximum file size for viewer[KB]
テキストビューアで読み込む最大容量の指定
※処理時間がかかる(文字コード判定)ため、容量を制限しています。

- extension
 - Text file
テキストファイルの拡張子を指定
 - Image file
画像ファイルの拡張子(固定)
 - Media file
メディアファイルの拡張子を指定
 - Compressed file
圧縮ファイルの拡張子を指定
- image scripts
画像効果のスキプトの指定
※script ディレクトリ内に配置が必要
※サンプルファイルを script ディレクトリに置いてあります
サンプルファイルの実行には、Imagemagick のインストールが必要です
 - Name
画像ビューアに表示する名前
 - Filename
スクリプトファイル名
- キーコマンド一覧は、F1 キーで表示されます。
同梱ファイル「キーコマンド.txt」でも確認できます。

Ver2 との主な変更点

- Treeview は階層が深くなると見難くなるので廃止しました。
- 仮想ドライブが登録ディレクトリより上の階層に移動できないのは不便だったので、リンク登録に変更しました。OS 権限があれば登録先より上の階層へも移動できます。
- リンクオープン是新タブ追加に変更しました。
- SFTP には対応していません。
- SHIFT+数字キーコマンドはテンキーが対応していないため、廃止しました。代わりに ALT+数字キーコマンドを追加しました。
- F2、F4 キーコマンドは、ターミナルが必要なマクロが F2 キーコマンド、ターミナルが不要なマクロが F4 キーコマンドとなるように変更しました。
- F4 キーコマンドは SHIFT キーを押しながら実行すると、引数を見捨てて登録プログラムを実行します。(前バージョンの F4 キーコマンドと同様で、登録プログラムの単体起動)
- F2 キーコマンドは SHIFT キーを押しながら実行すると「Add Macro Type2」、SHIFT キーを押さないで実行すると「Add Macro Type1」となります。
- X、R キーコマンドは、ターミナルが必要なコマンド実行が X キーコマンド、ターミナルが不要なコマンド実行が R キーコマンドとなります。
- USBドライブのタブを閉じると自動イジェクトする処理を廃止しました。リンクを右クリックして登録したイジェクトコマンドを実行して下さい。
- H キーコマンドは同一マシン内に限定しました。
- SHIFT+C, P, S と Alt+←を廃止しました。
- 内蔵のメディアプレーヤーを廃止しました。登録したメディアプレーヤーが起動されます。

F2、F4 キーコマンドの置換パラメータ

- #Q: 空白を含む文字列は#Q で囲むと 1 つのオプションと認識されます。
「”」「'」は文字として扱われます。
- F2 キーコマンドは、terminal 設定の「Add Macro Type1,2」の#COMMAND と置換されます。#Q は文字として、クォーテーションに置換されますので、「replace #Q」に「”」「'」など置換する文字を指定して下さい。
- #P: カレントディレクトリと置換されます。最後にパスセパレータがついているので、ディレクトリ名のみ指定時に上手くいかない場合は、「.」を後ろにつけてみてください。
- #D: カレントドライブと置換されます。(Windows 向け)
- #C: 拡張子付きのカレントファイル名と置換されます。
- #X: 拡張子なしのカレントファイル名と置換されます。
- #T: スペース区切りで拡張子付きの選択ファイル名と置換されます。
- #t: スペース区切りで拡張子なしの選択ファイル名と置換されます。
- #P#T: #T のカレントディレクトリ名付き
- #P#t: #t のカレントディレクトリ名付き
- #L: 拡張子付きの選択ファイル名と置換し、1 ファイル毎に処理を実行します。
- #I: 拡張子なしの選択ファイル名と置換し、1 ファイル毎に処理を実行します。
- #YY,#Yy,#YM,#YD,#Yh,#Ym,#Ys,#Yn: 年月日時分秒、ナノ秒と置換されます。
- #R: 実行時に入力したパラメータと置換されます。(複数指定しても同じ値になります)
- #W: F4 キーコマンド実行時に、#L, #I を指定している場合、1 ファイル毎にシリアル処理を実行します。

※#P#T, #P#t, #T, #t は、ファイル名に空白を含む可能性があるため、#Q が前後に追加されているのと同様に解釈されます。そのため、#Q の指定は不要となります。

環境・制限・いいわけ

- ゴミ箱には対応していません。削除したらゴミ箱に移動せず削除となります。
- ネットワークドライブの割り当てやショートカットの作成なども対応していません。スクリプトを作成し、マクロ登録をすれば実現できると思います。
※Windows 環境でのローカルディスクの場合、右クリックメニューでショートカットファイルが作成できます。
- 画像ビューアの画像効果は、「Fred's ImageMagick Scripts」などを参考にしています。処理速度は遅いです。また、それっぽく見えないかもしれません。
画像サイズが限定されているのは、処理速度の問題と、サイズが大きい画像はそれっぽく見えないことが理由です。
- フォント設定に関わらず文字化けし難いように、メニューやメッセージなどはシングルバイト文字を使うようにしていますが、外部アプリケーションの出力メッセージにマルチバイト文字が含まれている場合など、文字化けするかもしれません。また、マルチバイト文字に対応していないフォントを選択した場合、ファイル名などが文字化けするかもしれません。
- SSH/SMB のリンク登録時にパスワードを空欄で登録することも可能です。
その場合、パスワード認証時に毎回パスワード入力が必要です。
- SSH/SMB のリンク登録時にパスワードに「no」を入れると、ログイン時""に変換されます。
(guest など、パスワードなしの場合用)
- NW 監視は実施していません。
- SSH/SMB との通信が切断された場合の動作は保証しません。
- SSH/SMB のクリップボードおよび DnD のファイル一覧格納は、独自形式です。
そのため、他のアプリケーションとの Copy/Paste/DnD の互換性はありません。
- SSH および Linux 環境 SMB のファイル/ディレクトリ更新監視は実施していません。
F5 キーを押して更新して下さい
- SSH/SMB へのファイル書き込み/読み出しの最大サイズは 2GB までです。
- SSH で大量のファイルをコピーする場合や絶対に問題が起きてはいけないファイルをコピーする場合、圧縮⇒コピー⇒解凍とするようにして下さい。
- ファイルコピーは、エラーハンドリングとサイズチェックのみを実施しています。
※チェックサムや MD5 チェックなどは行っていません

- 大量のファイルをコピーするとウィルス検知ソフトにランサムウェアと誤検出されることがあります(全てのファイラーが同様だと思います)
なお、配布ファイルのウィルスチェックは実施済みです
- シンボリックリンク、ハードリンクの対応は不完全かもしれません
- 実行ファイルコピー後、ウィルス検知ソフトが掴んでしまう事があり、タイムスタンプや属性の反映に失敗してしまう事があります
- SSH/SMB で大量のフォルダやファイルが存在するフォルダを表示した場合、表示に時間がかかることがあります。
- Windows 環境でのローカルディスクへの右クリックメニュー
 - ・「プログラムから開く」のサブメニューが表示されず、毎回アプリ選択画面から選択する必要があります。
 - ・「アクセスを許可する」などの一部のサブメニューが表示されません。
 - ・yz3.1 内で「切り取り」「コピー」のメニューを選択した時、yz3.1 内で「ctrl+v」をするとエラーになります。
(ファイルエクスプローラーで右クリックメニュー「切り取り」「コピー」した物の yz3.1 での「ctrl+v」や、yz3.1 で右クリックメニュー「切り取り」「コピー」した物のファイルエクスプローラーでの右クリックメニュー「貼り付け」や「ctrl+v」はできます)
- Windows 環境での DnD
CF_HDROP 形式 (Windows のファイルドロップ形式) 以外を要求するアプリには DROP 出来ない可能性があります。

ライブラリ類およびライセンス

- 本ソフトウェア (Yz-Filer)

GitHub で前バージョンも公開しています

<https://github.com/Yz-Filer/Yz-Filer>

mailto: yz.6745302@gmail.com

Copyright (c) 2020 Yz

Released under the MIT license

<https://opensource.org/licenses/mit-license.php>

作者または著作権者は、本ソフトウェアに起因して被った直接的または間接的損害については一切責任を負わず、また保証/補償も出来ません

- Fred's ImageMagick Scripts
画像効果のアルゴリズムを参考にさせて頂いています。
非商用目的のみ無料で利用可

My scripts are available free of charge for non-commercial (non-profit) use, ONLY.

<http://www.fmwconcepts.com/imagemagick/index.php>

- OleDraDrop.dll
Windows 環境での DnD 用に使わせて貰っています。
フリーソフトです。
<https://www.vector.co.jp/soft/win95/prog/se240117.html>